



ハイライトよねやま 133

このたびの大震災で被害を受けられました皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

1 寄付金速報 — 予算達成に向けてご協力をお願いします —

3月末までの寄付金は累計で11億284万円となりました。前年同期と比べて2.1%減、約2,400万円の減少です。2010-11年度の予算額13億円に対し、あと1億9,700万円が必要です。

東日本大震災発生後、当会への寄付は非常に厳しい状況です。こうしたなか、和歌山南RCと名古屋RCの会員から「米山奨学事業のために」と、それぞれ100万円の大口寄付がありました。また、米山学友の陳思乾さん(台湾/1973-75/大阪淀川RC)、姫軍さん(中国/1995-97/東京臨海RC)からもそれぞれ50万円の寄付をいただきました。未曾有の大災害に、世界中の米山学友から祈りのメッセージや義援金が寄せられています。これこそ、50年間にわたる米山記念奨学事業のたまものにはほかなりません。どうぞ今後とも継続的なご支援をお願いいたします。

2 震災から1カ月……東日本大震災関連の続報

●**奨学生の安否** 第2520地区、第2530地区、第2820地区について、現役奨学生(3月終了者含む)および合格者、計116名の安否確認をすすめておりましたが、全員の無事が確認されました。

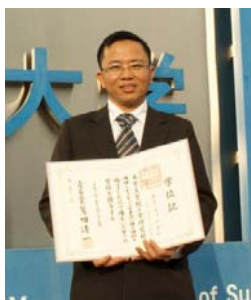
●国内外から支援の輪

4月11日現在までに、台湾学友会から2,576,000円、韓国学友会から1,630,000円、中国学友会から1,358,500円、第2670地区学友会から37万円を受領しました。また、匿名奨学生から「日本で生活するわれわれ外国人も今回の震災に日本人と同じく心を痛み、同じく力を出したい」と、アルバイトで貯めたお金を含め10万円を寄付してくれたほか、台湾学友会理事長の許國文さん(1975-77/徳島RC)が、自身の所属するロータリークラブを通じてマスクを6,000枚送ってくれました。これらの義援金と物資は、近日中に被災地区へ送ります。

台湾セブン-イレブンを展開する統一超商社長の徐重仁さん(1976-77/平塚RC)は、「第2の故郷である日本が大きな困難に臨み、いてもたってもいられぬ日々が続いています」とコメントを寄せ、セブン-イレブンの店頭募金などで2億円以上の義援金が集まっていると報告してくれました。

中国で日本語書店を経営する宋東さん(2005-06/鹿児島西南RC)は、これまで3回にわたって店頭募金を日本領事館へ寄付したほか、大連で開かれたチャリティーイベントに出展し、書籍の売り上げを全額寄付したということです。

3 現地採用の第1号奨学生が博士号を取得して帰国



2006年から3年間、ベトナムを対象に試行した現地採用米山奨学金制度。日本への留学を希望するベトナム在住の若者に門戸を開いたこの制度の第1号奨学生として、2007年7月に来日したタイ・ヴァン・ナムさん(2007-11/千里RC)は、大阪大学大学院博士課程で「ベトナムのエコラベル(環境基準)」をテーマに研究に励み、この3月に晴れて博士号を取得。学位授与式を終えて、27日に帰国の途につきました。

今後は、ホーチミン市工科大学の教員として迎えられるナムさん。「米山奨学生の名誉を汚さないように最善を尽くします」と、これからの奮闘を誓っています。

4 奨学生のスピーチコンテスト — 第 2660 地区 —

第 2660 地区（大阪府北部）主催の米山記念奨学生スピーチコンテストが 2 月 19 日（土）大阪国際交流センターで開かれました。当日は、同地区米山奨学生 12 名が発表に立ち、松本新太郎ガバナー、近藤雅臣 R I 理事（米山奨学会常務理事）とロータリアン 7 名が審査。奨学生の家族や、世話クラブ会員・事務局の皆さんも応援に駆けつけ、総勢 100 名規模の盛況でした。

最優秀賞に輝いたのは、大阪大学博士課程 3 年の劉璐さん（大阪御堂筋 R C）による「心開いて、勇気を出して、真の異文化理解へ」。冷え込む日中関係について、「こんな時こそ、マスメディアや他人の意見に振り回されることなく、自分の考えで中国人は日本人と、日本人は中国人と接し、分かり合おうとする努力をしてほしい」と、率直に語りました。そのほか 4 人が入賞を果たし、参加者全員に記念品が贈られました。

それぞれのスピーチの前には、世話クラブ会員による応援パフォーマンスが行われ、コンテストを大いに盛り上げました。

今回のスピーチコンテストは、同地区米山奨学委員長をつとめる磯田郁子氏が「米山奨学生が日本の生活の中で感じたことを地区のロータリアンに伝える機会になれば」と、長年温めていた企画だそうです。参加したロータリアンからは、「米山奨学生のレベルの高さを感じた」、「もっと多くの会員に聞いてほしい」、「夢をもらった」といった感想が寄せられ、多くのロータリアンに奨学生の魅力を伝える方法として、「スピーチコンテスト」が今後大きな役割を果たしてくれそうです。



最優秀賞の劉さん（右から 2 番目）と入賞者の皆さん

5 NHKハングル講座に米山学友がレギュラー出演中！



2009 年に日本の音楽界にデビューし、クラシカルポップス歌手として日本で活躍する米山学友、Jisong さん（2007-08 / 昭和音楽大学大学院 / 大和 R C）が、NHK 教育テレビ「テレビでハングル講座」（毎週火曜 23:00 ~ 23:25、再放送：土曜 6:00 ~ 6:25）にレギュラー出演しています。Jisong さんはネイティブゲストとして、生徒役のタレント・大沢あかねさんのサポート役を担当します。

「正確で美しい発音を心がけたい。ロータリアンや家族の皆さんに見ていただけたらうれしいです。一人でも多くの方にハングルを知ってもらい、楽しく勉強できるように頑張りたい」と、意気込みを語っています。ぜひご覧ください！

『ロータリーの友』5月号に姫軍さんのスピーチが掲載されます！

昨年 11 月、第 2590 地区の地区大会で姫軍さん（中国学友会華北分会会長）が行った講演が『ロータリーの友』5月号の巻頭に掲載されます。すばらしい内容ですのでぜひご覧ください